

【特別調査】

(2022年度第3四半期)

「人材採用・人件費」に関する調査

1. 調査目的：当所会員事業所の「人材採用・人件費」について調査し、今後の意見活動等に反映すること。
2. 調査期間：2022年12月5日～2022年12月19日（15日間）
3. 調査方法：（1）市内に本店を置き、FAX番号登録のある当所会員事業所
（2）2022年度第3四半期景気動向調査とあわせて調査

(回答率)

調査事業所数	回答事業所数	回答率
4,730	1,193	25.2%

(回答事業所の業種別構成比)

	構成比	事業所数
全 体	100.0%	1,193
建設業	20.5%	245
製造業	19.2%	229
卸売業	10.0%	119
小売業	12.8%	153
サービス業	19.8%	236
その他	17.7%	211
情報通信業	1.0%	12
運輸業	4.1%	49
金融・保険業	1.8%	22
不動産業	3.7%	44
飲食・宿泊業	3.7%	44
医療・福祉	2.4%	29
教育・学習支援業	0.9%	11

(回答事業所の規模別構成比)

	構成比	事業所数
全 体	100.0%	1,193
小規模	65.3%	779
中規模	30.8%	367
大規模	3.9%	47

【小規模】

「1～5人」

：情報通信業、卸売業、小売業、
飲食・宿泊業、医療・福祉、
教育・学習支援業、サービス業

「1～20人」

：建設業、製造業、運輸業、金融・保険業、
不動産業

【中規模】

「6～50人」

：小売業、飲食・宿泊業

「6～100人」

：情報通信業、卸売業、医療・福祉、教育・
学習支援業、サービス業

「21～300人」

：建設業、製造業、運輸業、金融・保険業、
不動産業

【大規模】

：上記【小規模】【中規模】を除く区分。

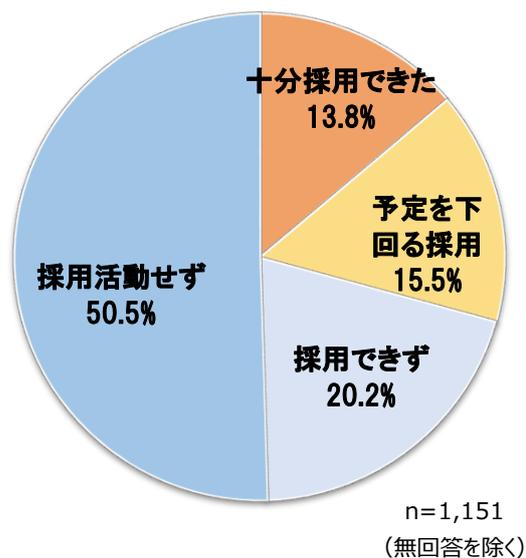
問1. 今年度（2022年4月以降）の採用活動について、該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。

【採用状況】

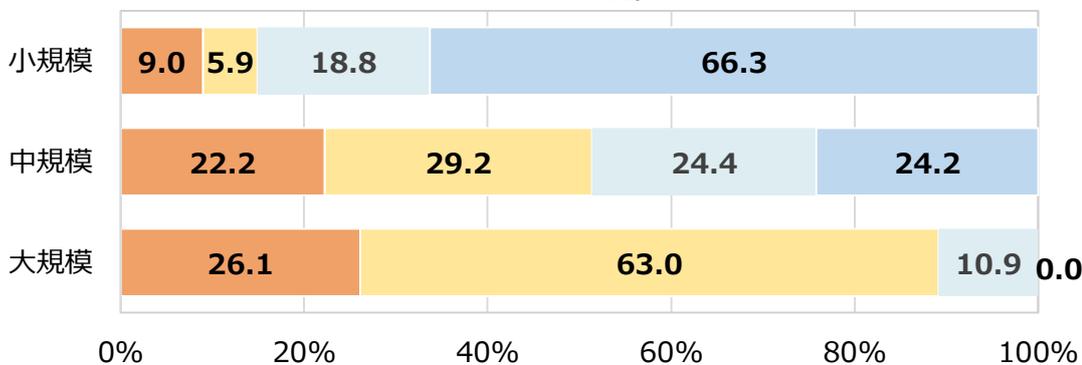
・全体では、「十分採用できた」とする回答が13.8%、「予定を下回る採用」が15.5%、「採用できず」が20.2%だった。また、「採用活動せず」の割合は50.5%だった。

・規模別では、規模が大きいほど「十分採用できた」および「予定を下回る採用」の回答割合が多くなっている。

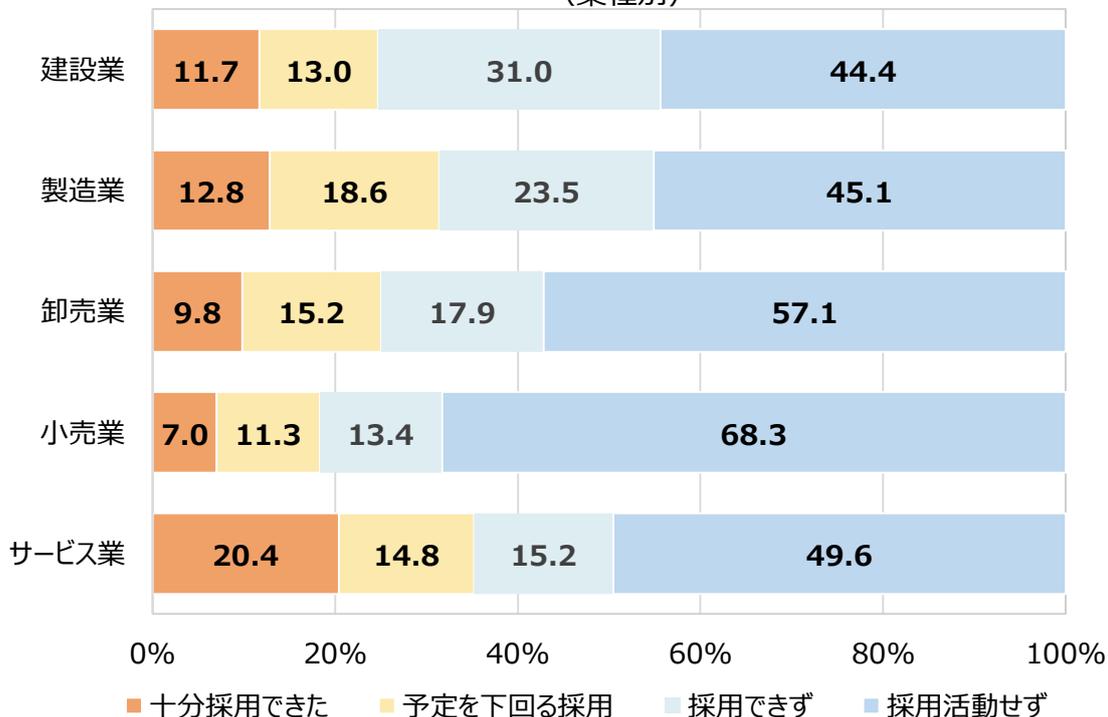
・主な業種別で見ると、サービス業（20.4%）で、「十分採用できた」の回答割合が最も多かった。また、小売業（68.3%）で、「採用活動せず」の回答割合が最も多かった。



(規模別)



(業種別)



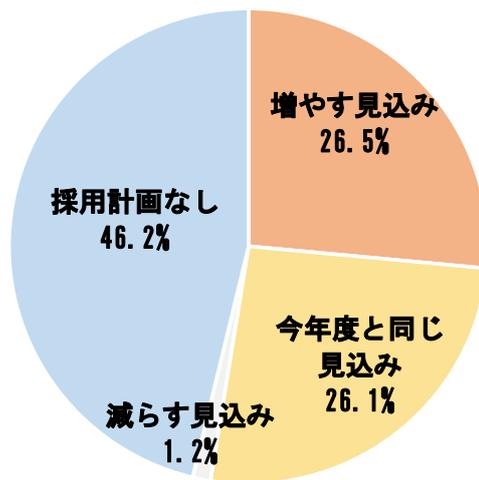
問2. 来年度（2023年4月以降）の採用計画について、該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。

【採用計画】

・全体では、「増やす見込み」の回答割合は、26.5%、「今年度と同じ見込み」が26.1%、「減らす見込み」が1.2%、「採用計画なし」が46.2%だった。

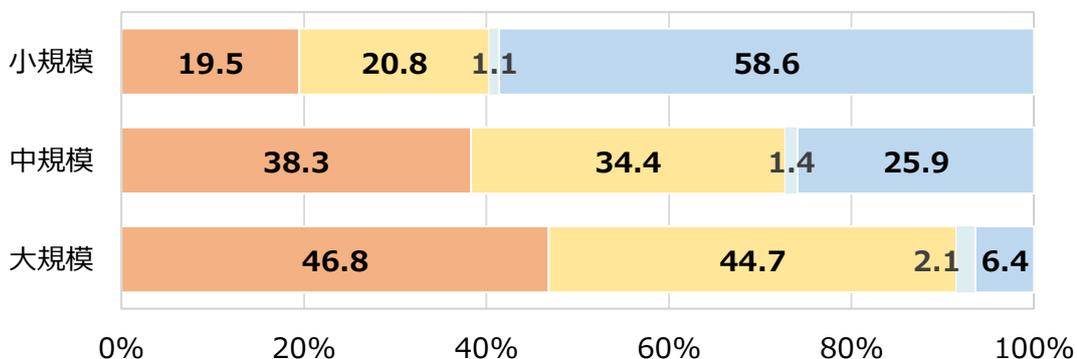
・規模別で見ると、規模が大きいほど「増やす見込み」の回答割合が多かった。

・主な業種別で見ると、建設業（31.8%）、製造業（30.5%）、卸売業（28.1%）の順に、「増やす見込み」の回答割合が多かった。

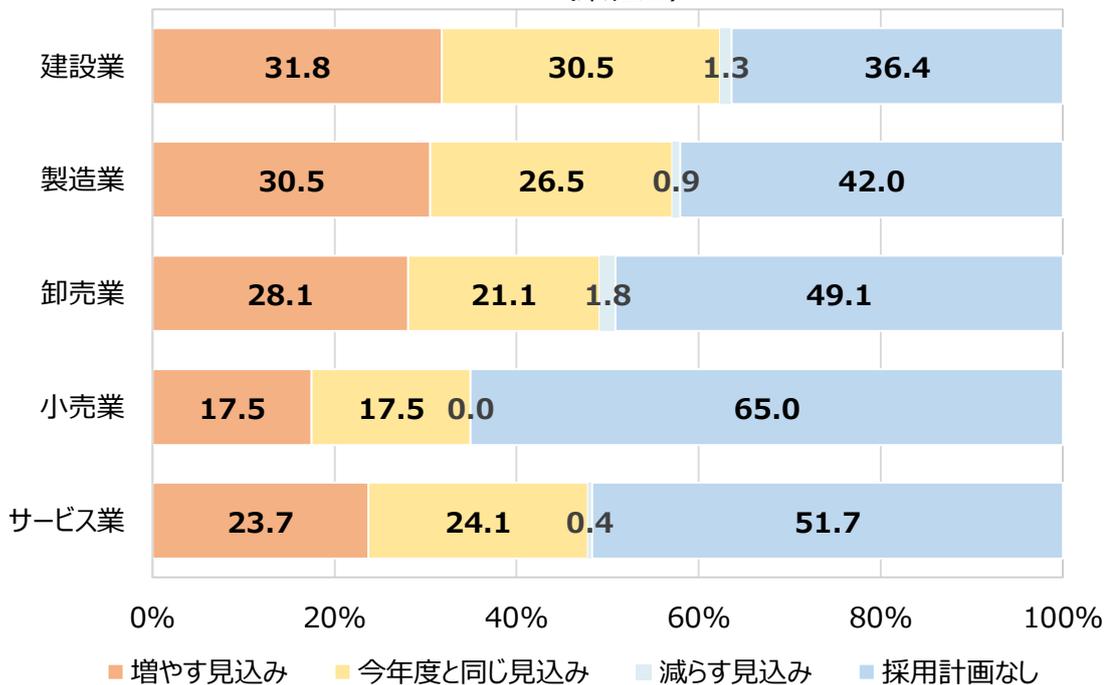


n=1,159
(無回答を除く)

(規模別)



(業種別)



問3. 一人当たりの人件費、雇用の状況について、それぞれ1つ選んで○で囲んでください。

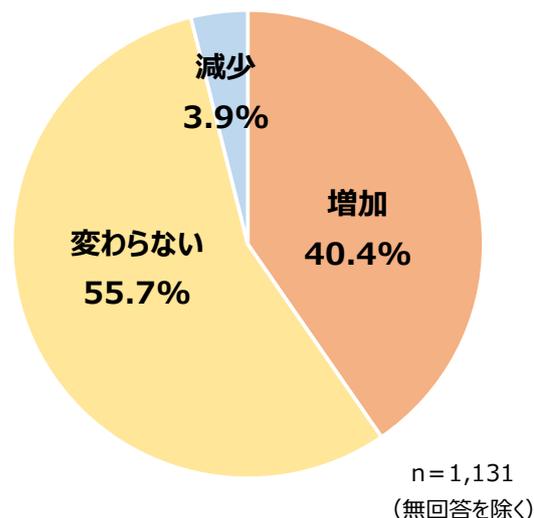
※昨年度（2021年度）と比べて

【毎月支給の基本給】

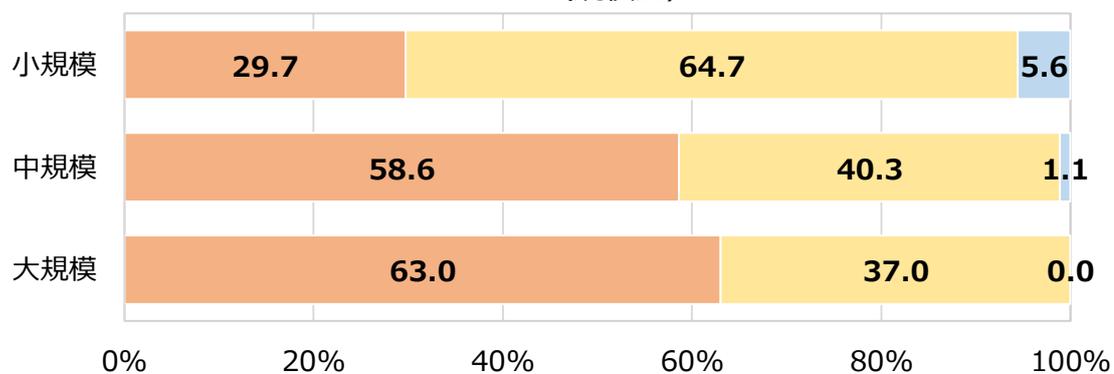
・全体では、「増加」の回答割合が、40.4%、「減少」が3.9%、「変わらない」が55.7%だった。

・規模別で見ると、小規模に比べ、中規模・大規模では増加の割合が、ほぼ2倍と多かった。

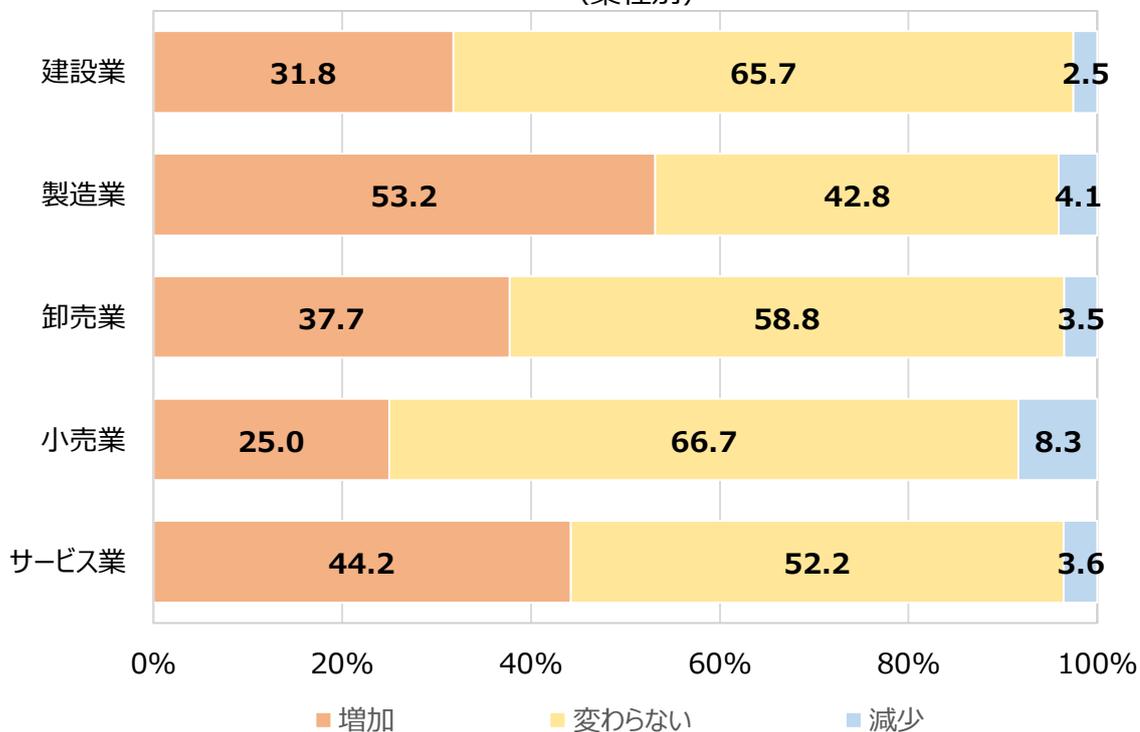
・主な業種別で見ると、製造業（53.2%）とサービス業（44.2%）で、「増加」と回答した割合が多かった。



(規模別)



(業種別)

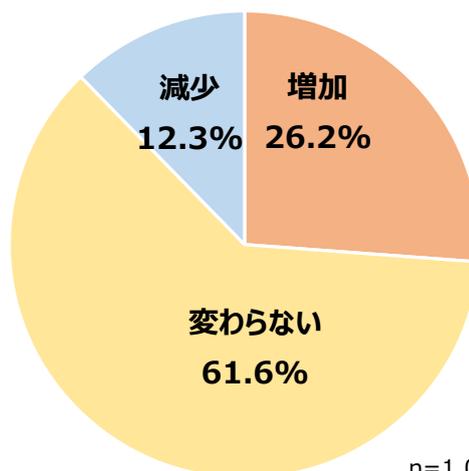


【一時金（賞与）】

・全体では、「増加」の回答割合は、26.2%、「減少」が12.3%、「変わらない」が61.6%だった。

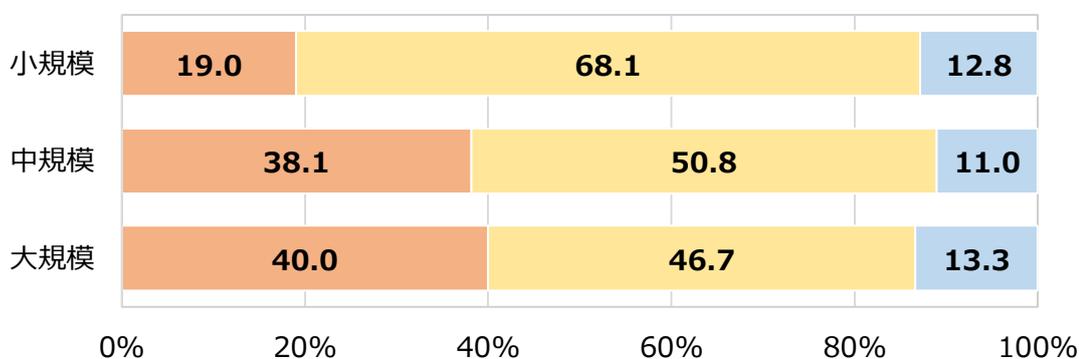
・規模別で見ると、小規模に比べ、中規模・大規模の「増加」の割合が、ほぼ2倍と多かった。

・主な業種別で見ると、製造業（31.1%）、サービス業（28.0%）で、「増加」の回答割合が多かった。

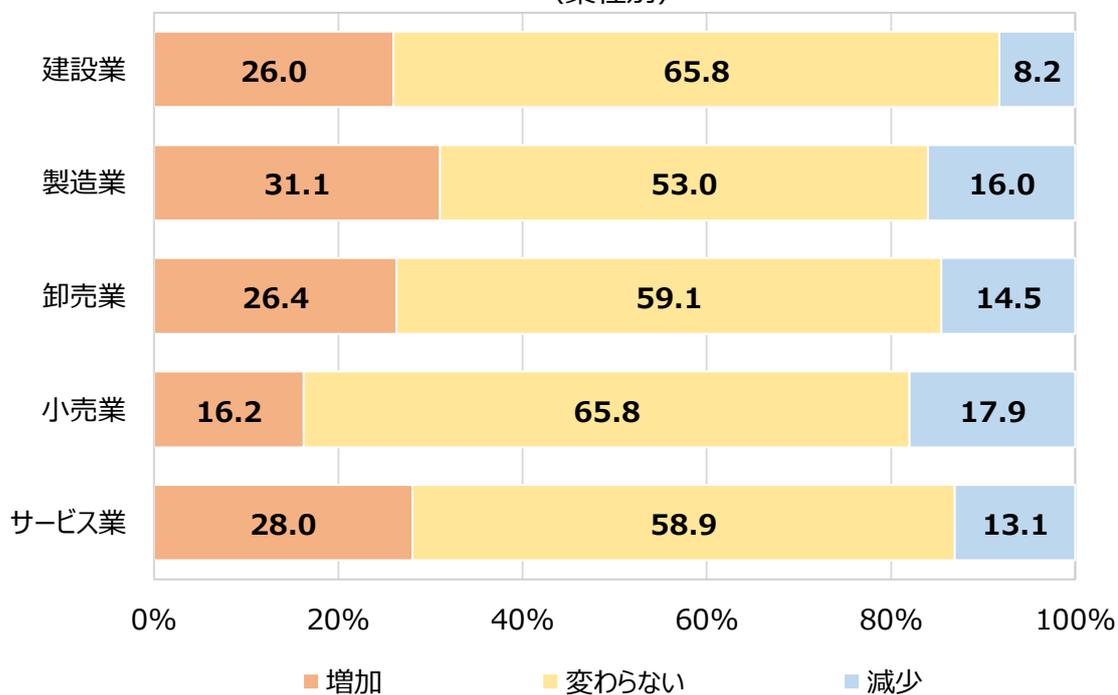


n=1,077
(無回答を除く)

(規模別)



(業種別)

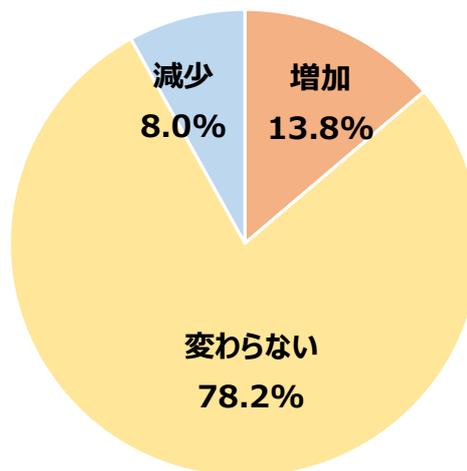


【超過勤務手当等】

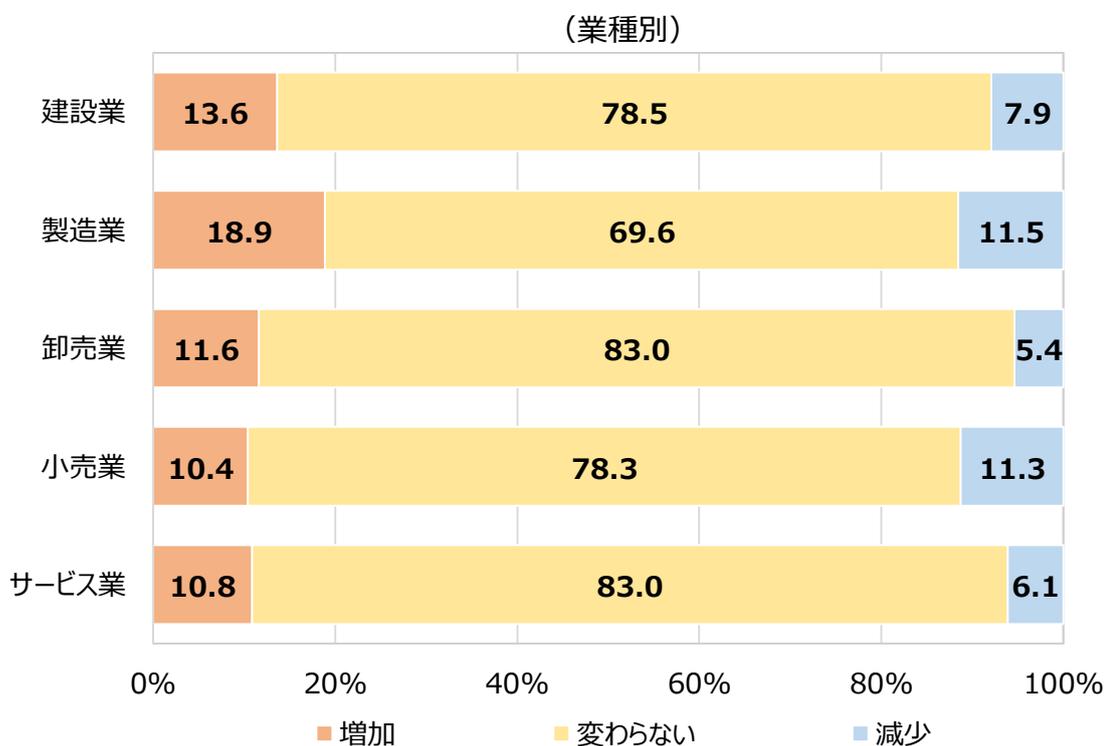
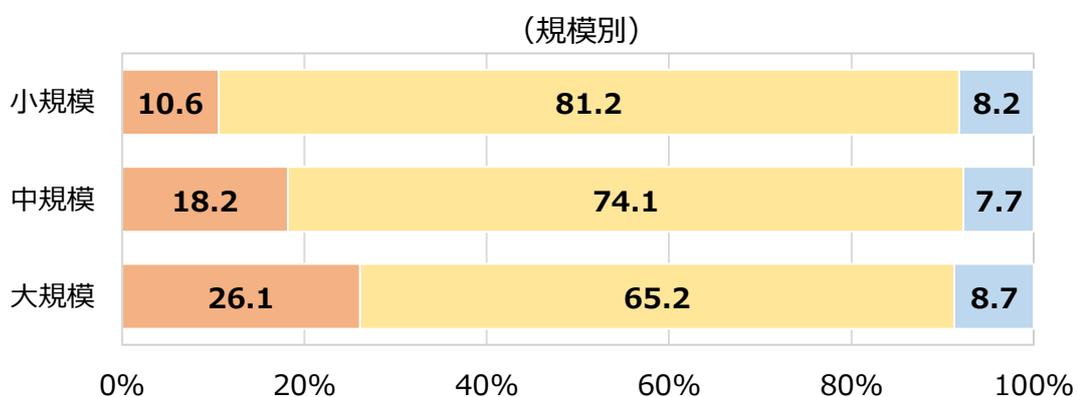
・全体で、「増加」の回答割合が、13.8%、「変わらない」が78.2%、「減少」が8.0%だった。

・規模別で見ると、規模が大きくなるほど、「増加」の回答割合が多かった。

・主な業種別で見ると、製造業（18.9%）、建設業（13.6%）で、「増加」と回答した割合が多かった。ただし、製造業では「減少」の回答割合も11.5%と他の業種に比べ多かった。



n=1,069
(無回答を除く)

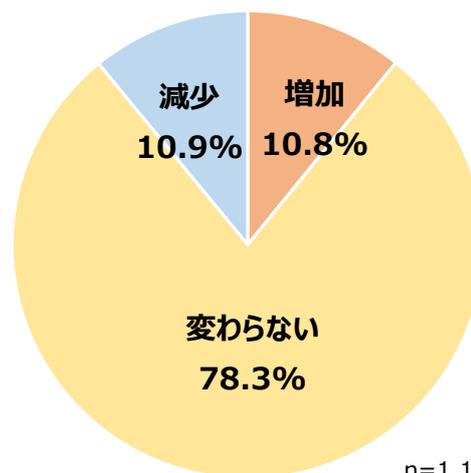


【正社員の人数】

・全体では、「増加」の回答割合は、10.8%、「変わらない」が78.3%、「減少」が10.9%だった。

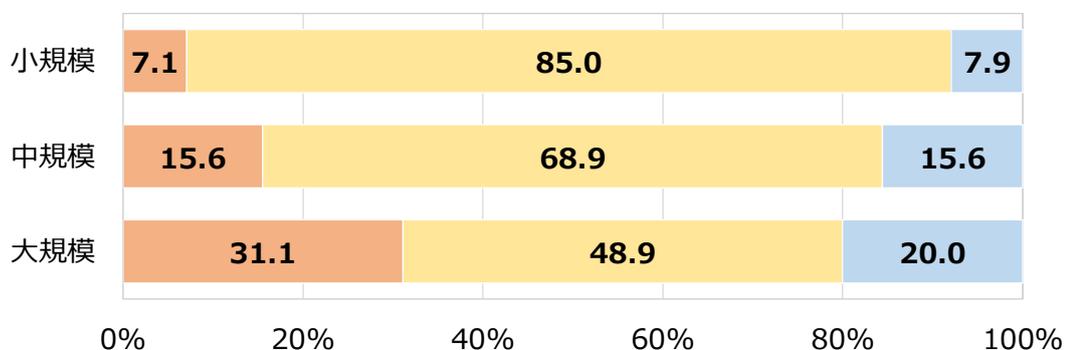
・規模別で見ると、規模が大きくなるほど、「変わらない」の回答割合が減少し、「増加」もしくは、「減少」の割合が多くなっている。規模が大きくなるほど、2極分化が進んでいる。

・主な業種別で見ると、サービス業（13.4%）、製造業（11.7%）で、「増加」の回答割合が多かった。また、製造業（16.2%）で「減少」の回答割合が多かった。

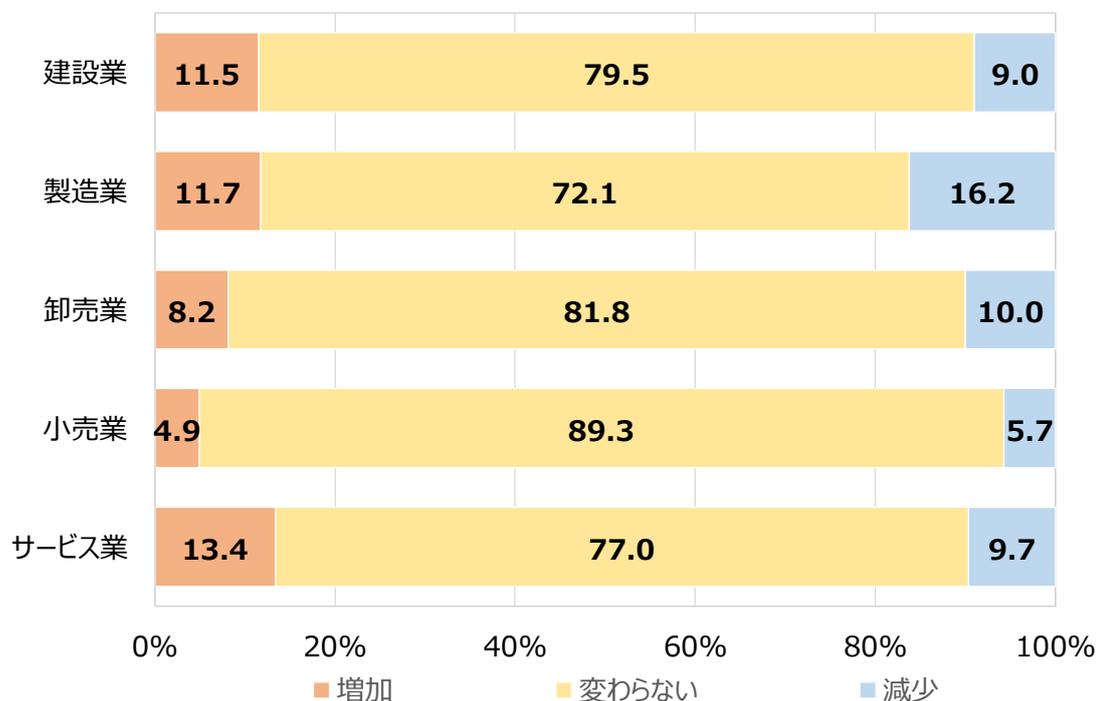


n=1,100
(無回答を除く)

(規模別)



(業種別)

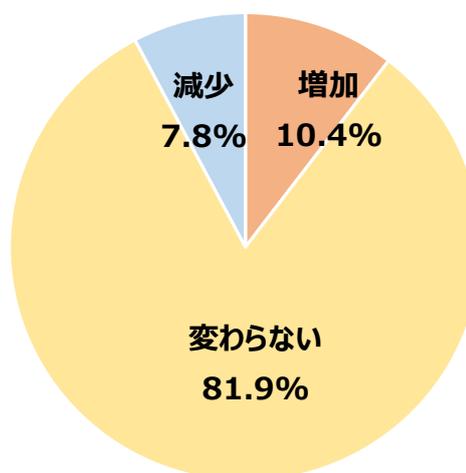


【パート・アルバイト（非正規社員）の人数】

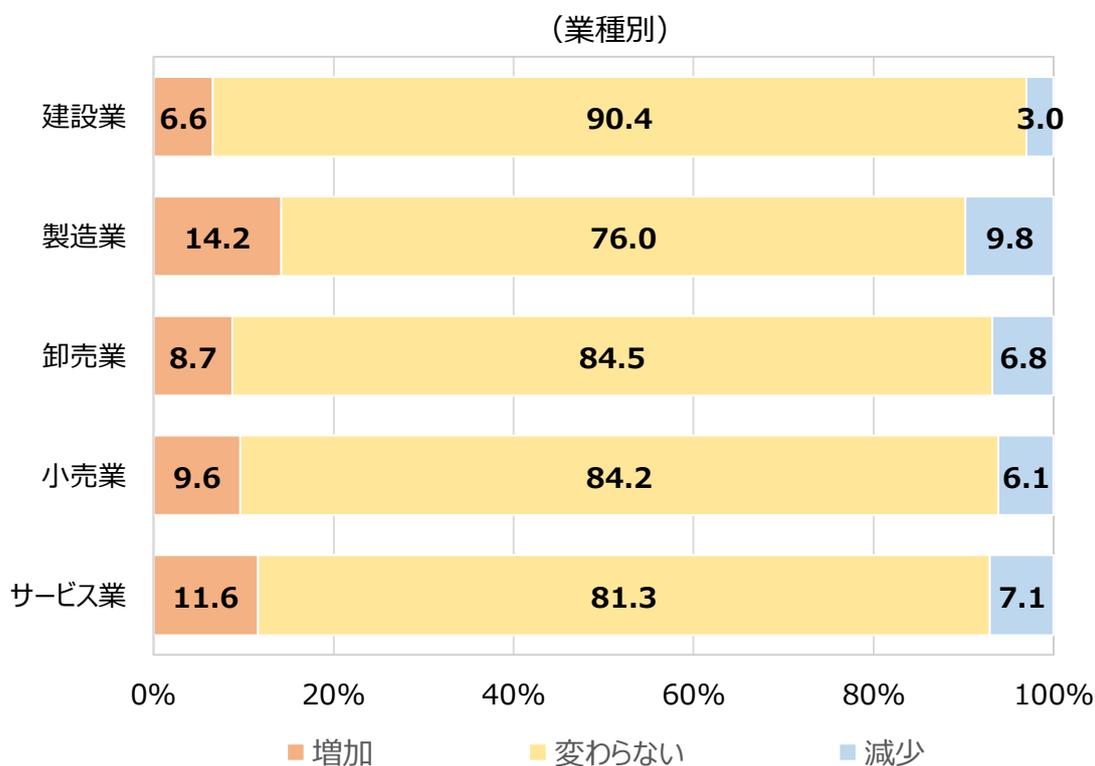
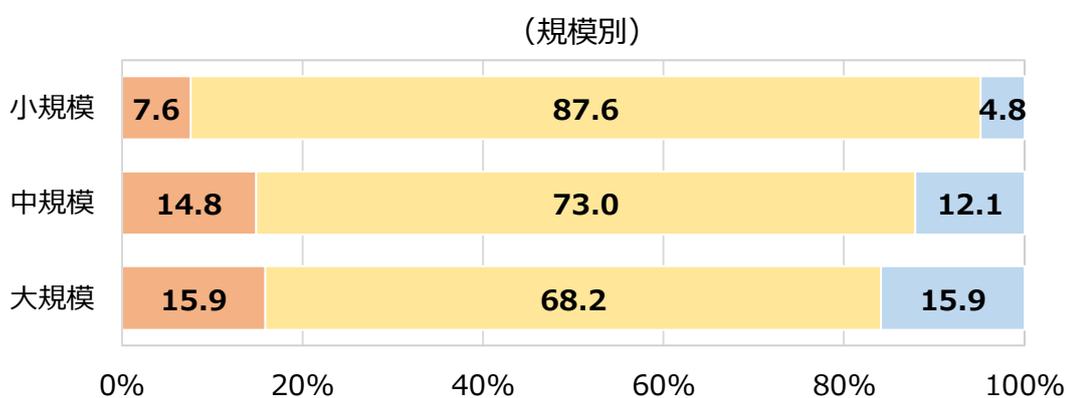
・全体では、「増加」の回答割合は、10.4%、「変わらない」が81.9%、「減少」が7.8%だった。

・規模別で見ると、小規模に比べ、中規模・大規模で「変わらない」の回答割合が少なく、「増加」もしくは「減少」の回答割合が多かった。

・主な業種別で見ると、製造業（14.2%）、サービス業（11.6%）で、「増加」の回答割合が多かった。一方で、製造業（9.8%）、サービス業（7.1%）で、「減少」の回答割合も多かった。

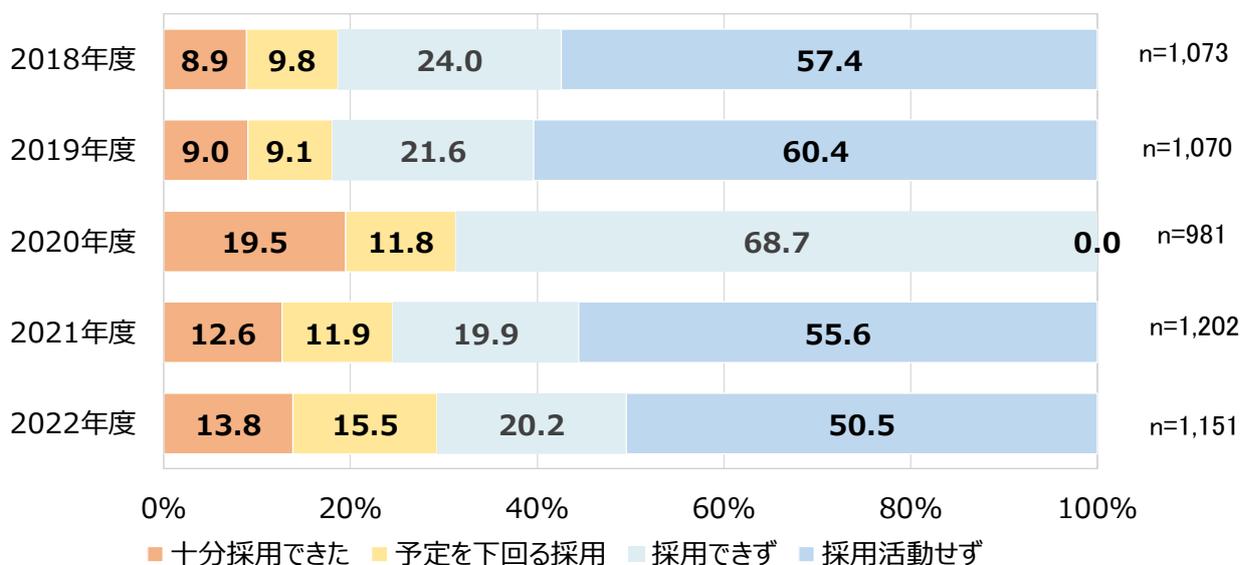


n=993
(無回答を除く)



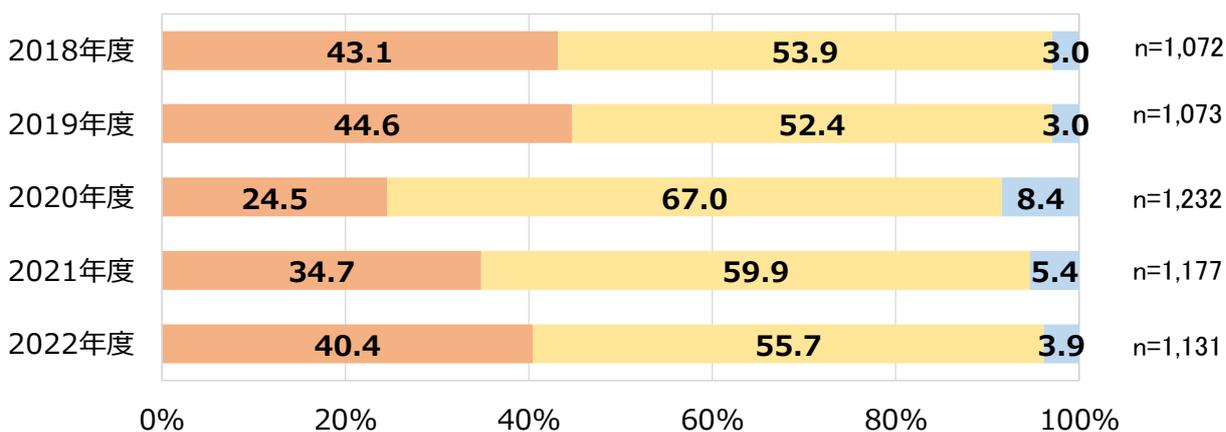
(参考) 過去調査との比較

【採用状況】

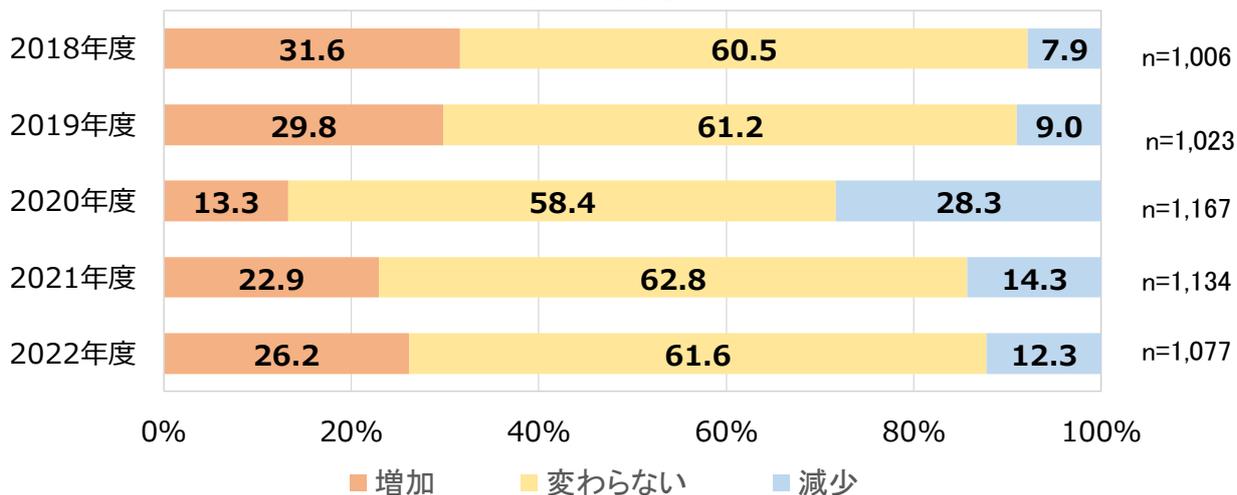


※2020年度調査は新型コロナウイルス感染症拡大により、質問内容を変更しております。

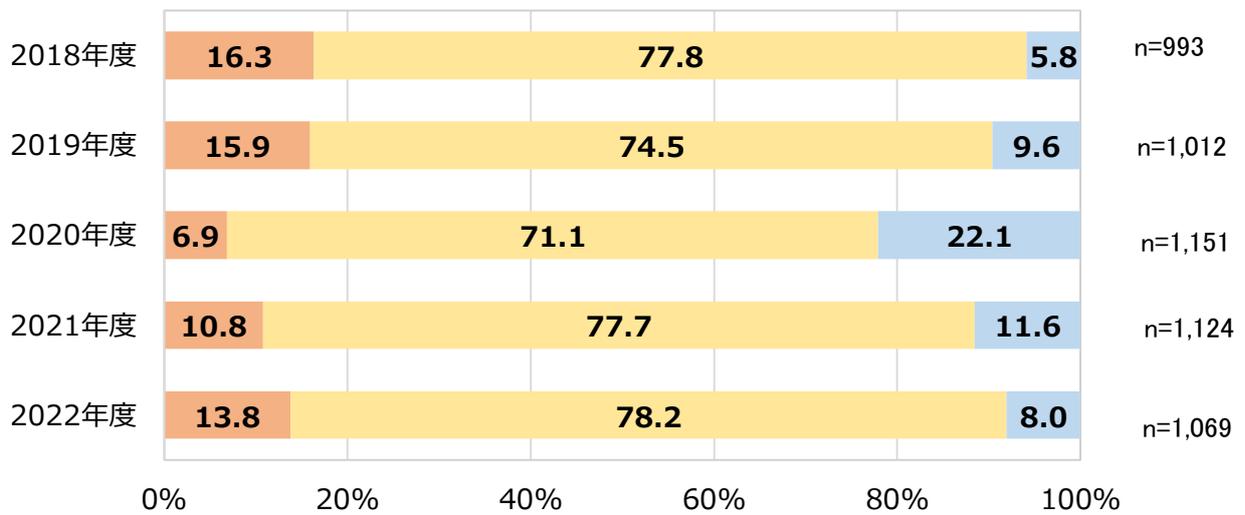
【毎月支給の基本給】



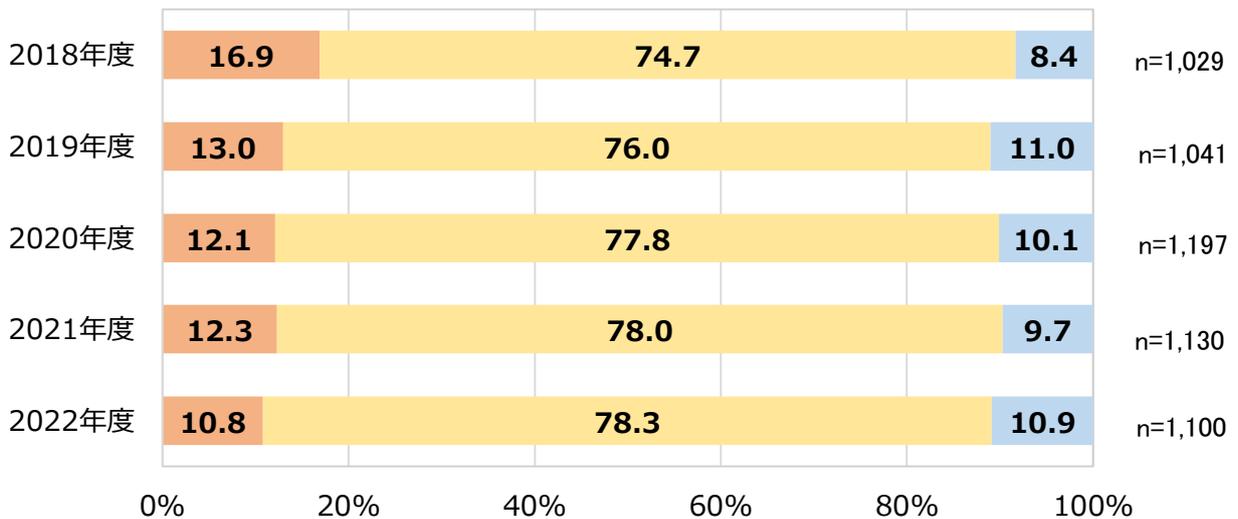
【一時金（賞与）】



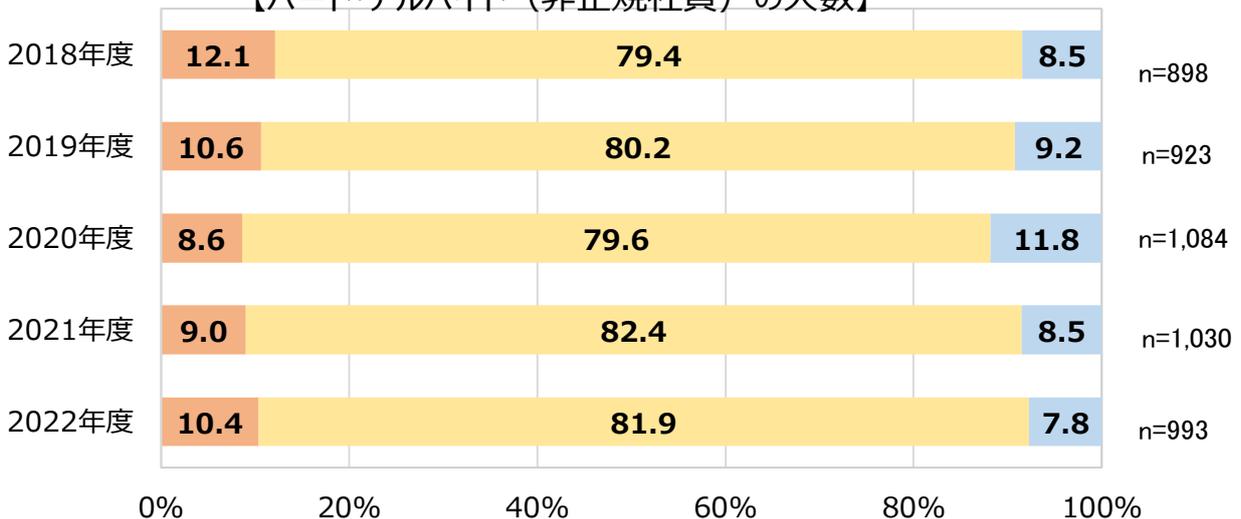
【超過勤務手当等】



【正社員の人数】



【パート・アルバイト（非正規社員）の人数】



■ 増加 ■ 変わらない ■ 減少

2022年度第3四半期 姫路市景気動向特別調査結果

姫路商工会議所 姫路経済研究所

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

T E L : 079-223-6555 (直通)

F A X : 079-288-0047

U R L : <https://www.himeji-cci.or.jp/>